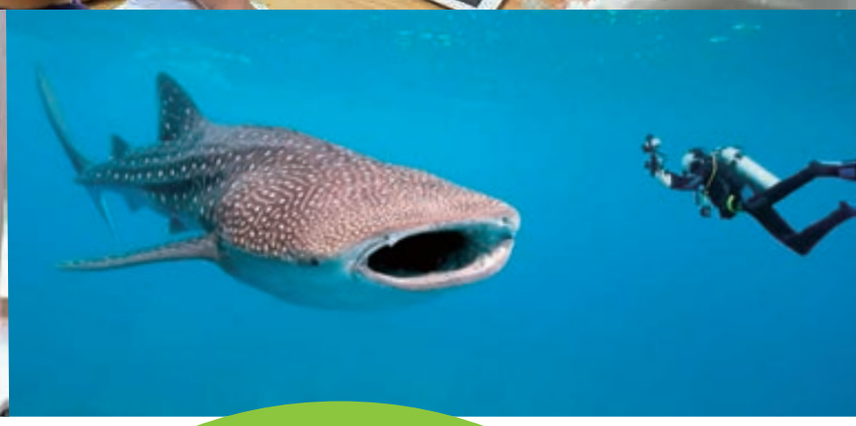
フィリピン
セブ島留学

CEBU English

フィリピン専門
留学エージェント

格安＆少人数制の
『セブ島』で英語を学ぼう!!



フィリピン
第二の都市＆
常夏リゾート

格安４週間
約15万円～
寮＆食事付

年間
１万人以上

が留学！

直行便で
4時間半

充実
マンツーマン
授業

相談
手数料
無料!

フィリピン・セブ島留学の魅力

01. 格安の留学費用

物価の安いフィリピンでは、欧米諸国に比べ破格の値段で留学を実現することができます。

《４週間留学の費用例》

※申し込まれる学校、コース、お部屋の種類（1～6人部屋・ホテル・寮）によって値段は異なります。

- **入学金＋授業料＋寮費（食事・洗濯・掃除含む）＝ 約13万～30万円**
- **ビザ関連＋教材費＋電気代etc＝約3.5万円**
- **航空券 ＝ 5～10万円**

・お小遣い ＝ 1万～５万円

《TOTAL》
約22万円～48.5万円

《フィリピンの物価》

例）タクシーの初乗り運賃：約100円外
食（フィリピン料理）：500円～
外食（日本料理）：1,000円～

缶ビール：約150円
マッサージ：1時間2,000円～

02. マンツーマン授業

フィリピン留学では講師と生徒が1対1のマンツーマン授業が充実しており、生

徒が10名前後の欧米留学の授業スタイルと比べて、授業内容を自分のレベルに合わせてもらえるので、初心者でも安心です。経験豊富な講師が多く、早い上達が期待できます。

03. 英語が第二公用語

フィリピンは日本から一番近い、英語が多用されている国です。レストランやショッピングモールなど、日常生活で訪れるところでも自然に英語に触れることができます。

留学先として人気のセブ島では、お客様のニーズや留学目的（例. 会話力向上、ビジネス英語、試験対策など）に対応す

る語学学校が多数あります。競争率の高い採用試験を通過した優秀な講師を採用し、質の高い授業を提供しています。

05. 授業量が欧米の約２倍！

欧米留学では、半日だけの授業が一般的ですが、フィリピン留学のカリキュラムは欧米留学と比べて２倍以上（一日6〜10時間）の授業量です。単に安いだけではなく、マンツーマン授業や少人数制のグループ授業で、周りを気にせずに、密度の濃い授業が受けられます。

06. 食事・掃除・洗濯サービス付の全寮制

フィリピン留学では、食事・掃除・洗濯といった身の周りの家事を全て行なってもらい、勉強だけに集中できることは大きなメリットです。土日も含めて食事が３食提供される学校もあり、お財布に優しく、学食として衛生面でも安心です。
※学校によっては朝食のみ、また土日祝は1食など、食事が別料金で設定されている学校もあります 。

07. 出発前のビザ準備が不要

欧米留学ではビザ関連の手続きが複雑で時間と手間がかかります。フィリピン留学では事前のビザ申請は不要で、現地到着後、学校職員が手続きを代行してくれるので簡単・手間いらずです。

08. 日本との時差は約1時間 時差ボケの心配無し！

欧米と日本では半日程度の時差があるので、到着後数日間は時差ボケで勉強に集中できません。フィリピンと日本の場合、時差は約１時間ですので比較的早く環境に馴染めます。

■なぜセブ島なのか？

フィリピン留学の中でも、セブ島が一番人気の理由

・フィリピン第２の都市＆世界有数のリゾート地

フィリピン第２の都市であるセブ島は、巨大ショッピングモールが幾つもあり、生活必需品はすべて入手可能です。生バンド演奏が行われるレストランなども多く、南国らしい賑やかな雰囲気を楽しめます。観光地としても有名で、アイランドホッピング、ジンベエザメウォッチング等のマリンアクティビティが充実しており、世界中から多くの旅行客が訪れます。気候は1年中暖かく、夏服で過ごすことができます。

・安定した治安

セブ島はフィリピンの中では治安が安定しており、数千人の日本人が暮らす都市です。自己管理さえ怠らなければ安全に生活することができます。

・日本から直行便で４時間半

セブ島はフィリピンの地方都市の中で数少ない、日本からの直行便が就航している地域です。時差も１時間のみで、移動の疲れや時差ボケに悩まされることなく、翌日から留学生活を開始することができます。

・英語が通じやすい

セブ島では、ビジネスシーンを中心に英

語が多用されており、中流層以上は英語に長けている人が多いです。欧米向けのコールセンター等もあちこちにあり、日頃から英語を使った仕事をしている人が多い土地柄です。一方、マニラ首都圏では、主な共通語はタガログ語で、外国人は現地の人から「タガログ語は話せないの？」と聞かれることがよくあります。

・長期滞在の日本人に適した土地柄

日本食レストランや日本食材店が多数点在し、日本語で対応できる総合病院もあるので、もしもの時も安心です。セブ島には外国人も多いため、中華料理やイタリアンなど世界各国の料理も楽しめます

。

■ 治安や病気の心配

セブイングリッシュは
「安全対策会議」をサポート

CEBU Englishの代表はセブシティにある日本領事事務所で定期開催される語学学校の日本人管理者向けの『セブ留

学生活安全対策会合』の運営を代表幹事としてお手伝いしており、そこで得られる情報は当社の安全・防犯対策情報に速やかに反映させております。

■セブ島の防犯対策

セブ島は、首都マニラや南部のミンダナオ島の一部地域とは異なり、フィリピンの中では比較的治安が安定しています。ただし、外国人を狙ったひったくりやスリなどの軽犯罪には注意が必要です。
以下の行動は慎んでください。

・飲食店で場所取りのために荷物を置きっぱなしにする。
・歩きながらスマートフォンを操作する。

・ヘッドフォンで音楽を聞きながら外を歩く。
・人の多い場所で、現金や高価な所持品を見せる。
・ショッピングモールなどで声をかけられた知らないフィリピン人についていく。
→外国人旅行客や留学生を狙った詐欺事件が発生しています。

セブ島での移動はタクシーが安全です。運賃は初乗り100円程度と安く、気軽に利用できます。

「ここは日本ではないのだ」という自覚をしっかりと持ち、不要なトラブルに巻き込まれないようにしましょう。

■ 南国特有の病気について

フィリピンでは、水道水は飲めません。ペットボトル入りの水や、学校内に設置されている給水器の水を利用しましょう。また、衛生的な食事を心がけることで食中毒などの病気を予防できます。蚊が媒介するデング熱などの病気もありますので、

虫除け対策は日本よりも慎重に行いましょう。滅多にないケースですが、フィリピンでは狂犬病もあるので、野良犬はもちろん猫や鳥などの動物には近づかず噛まれたりしないように注意しましょう。

■ 授業の特徴

マンツーマン授業

フィリピン留学の最大の特徴はマンツーマン授業が充実していることです。

少人数制グループ授業

欧米のグループ授業は10～15人の生徒がいるクラスが主流ですが、セブ島では**講師1人に対し４～６人の生徒で授業**が行われるので、各生徒が発言しやすく効果的な授業スタイルです。
また、マンツーマン授業で学習した英語を**グループ授業でアウトプットすることでさらなる成長が期待できます。**

ネイティブ講師の授業

フィリピンの学校ではアメリカ人やイギリス人といったネイティブ講師を採用しているため英語圏に近い環境で学習することができます。

留学生の一日のスケジュール(例)

7:00～7:30 朝食
7:30～7:55 ボキャブラリーテスト
8:00～8:50 マンツーマン授業①
9:00～9:50 マンツーマン授業②
10:00～10:50 空き時間
11:00～11:50 グループ授業①
12:00～12:50 昼食
13:00～13:50 マンツーマン授業③
14:00～14:50 グループ授業②
15:00～15:50 空き時間
16:00～16:50 マンツーマン授業④
17:30～18:30 夕食
18:30～ 自由時間～就寝

フィリピン人講師のメリット

ネイティブに近い英語力

フィリピンでは幼稚園や小学校から英語教育が始まるため、大卒で訓練されたフィリピン人講師は正確で流暢な英語を話します。

ノンネイティブ

フィリピン人にとって、英語は第２言語。学習の仕方や生徒の気持ちを理解した上で指導してくれます。学習方法など気軽に相談できるので、心強いですね。

フレンドリー

フィリピン人はフレンドリーで親しみやすい国民性です。明るく、朗らかな講師達と和やかな雰囲気で気後れせずに会話を楽しめます。授業では笑いが絶えません。

みんなが心配するQ&A

Q：どのような年齢層の方がセブへ語学

留学していますか？

A:10代～70代まで幅広い年齢層の方が留学されています。近年、当社を利用した日本人生徒の男女比は女性６：男性４程度です。大学などの長期休暇期間（７月後半から９月前半、２月～３月頃）は**大学生**が多くなりますが、それ以外の時期は、20代前半～30代の方が多い傾向です。当社利用者の最高齢は80歳の男性で、50代～60代の方も大勢留学されています。親子留学では３歳以下の小さなお子様も留学を楽しまれています。

Q：祝祭日・年末年始には授業がありますか？

A: フィリピンおよびセブの祝日・年末

年始には語学学校も休みになるケースがほとんどです。フィリピンの祝祭日は急に日付が変更になったり、突然祝日が制定されたりすることがあります。祝日による休校に関して、授業の振替や返金等の対応は基本的にございませんので、何卒ご了承ください。※学校によっては独自のポリシーを設け、何らかの対応がなされる場合もあります。

Q：まったく英語が話せませんが大丈夫ですか？

A：当社をご利用いただいた方の中にも、まったく英語が話せなかったという方が大勢いらっしゃいます。フィリピンの語学学校では、マンツーマン授業を中心にカリキュラムが構成されており、生徒の英語レベルと学習ペースに合わせた授業が行われています。他の生徒を気にしたり、内容を理解できないまま授業が進んでしまったりということはなく、自分が納得するまで講師と１対１で学習する事ができます。講師達は、英語初心者に接することに慣れており、親身になって教えてくれます。最初は不

安な方も、教材に書かれた文字を指差し確認しながら授業を進めていく等して、徐々に英語に慣れていきます。ただし、事前に「基本的な文法」や「挨拶、質問の仕方の表現」等を身につけておくと、よりスムーズに講師とコミュニケーションをとることができ、限られた期間の留学生活がより充実したものとなるでしょう。

Q：日本の電化製品は使えますか？

A：フィリピンは220ボルトの60ヘルツで、日本と同じAタイプのプラグ形状が一般的です。電圧が日本と異なるため、機器によっては変圧器が必要です。変圧器はセブのショッピングモールなど

で購入できますが、品質が悪いものもありますので、必要な方は日本から持参するか、セブで購入する場合には、使用しない時にはコンセントから抜いておくようにしましょう。ドライヤーは消費電力が高く、安い（小さい）変圧器では使えない場合もありますのでご注意ください。ドライヤーは当社のレンタルサービスをご利用いただくか、日本で220V対応の製品を購入する、または、現地で安く購入も可能です。ノートパソコンやデジタルカメラ、電気カミソリ等は100V-240V対応のものがほとんどです。製品のマニュアルや充電器、ACアダプタに対応電圧の記載がありますので、事前に必ずご確認ください。

Q：フィリピンに入国する為の条件は？

・往復航空券、もしくは、フィリピンから出国する航空券が必要です。

・パスポート残有効期間が、滞在日数＋６ヶ月以上必要です。

・15歳未満の単独入国は不可です。

※ 親子でも苗字が異なる場合、親子関係が証明できる書類が必要です。

※ 親以外の保護者が同伴する場合は、事前に日本にあるフィリピン大使館・領事館で手続きが必要です。

Q：学校内サービスやセブの飲食店でチップは必要ですか？

A：学校内サービスや、ファーストフード店、タクシーではチップ不要です。レストランでは１人あたり20ペソ程度のチップをテーブルに残すのが基本です。街中のマッサージ店では50ペソ程度のチップが一般的です。（サービスが悪い場合はチップを残さないなど、必ずしも皆がチップを渡しているわけではないので、あくまでも参考情報として、ご自身で判断して下さい。）

Q：病気になったらどうする？？

A: セブ市の複数の総合病院内にあるジャパニーズヘルプデスク(J.H.D)では、日本人職員が日本語で診察サポートをしています。もちろん、日本の各種の海外旅行傷害保険が使えます。※一部ジャパニーズヘルプデスクで扱えない海外旅行傷害保険があります。

ジャパニーズヘルプデスク
JAPANESE HELP DESK

ホテルや語学学校への往診も行ないます。

留学までの流れと申

し込み方法

フィリピン留学に興味がございましたらお気軽にセブイングリッシュまでお問い合わせ下さい。学校に求める条件やご希望時期や期間、ご自身の英語レベルや英語習得目的などをお知らせいただければ、あなたにあった学校と概算料金をご提案いたします。

STEP 1

まずはお気軽にご連絡ください！

現地にオフィスがある当社では、頻繁に各学校を訪れ、常に最新の情報を提供できるよう努めております。
お客様にあった最適な学校をご提案いたします。

STEP 2

入学・学校のお申込み

ご希望のコースと滞在日程等が決まりましたら、学校の空き状況を確認いたします。入学が可能であれば、お申込みとなります。※出発日が１ヶ月を切っている場合も学校の予約状況次第で受付いたします。お気軽にお問合せください。

STEP 3

パスポートをご準備ください

発行迄に１～２週間程度の日数がかかります。パスポートをお持ちでない

方は申請をお願いします。
フィリピン入国の際には滞在終了予定日＋６ヶ月の残存有効期間のあるパスポートが必要です。パスポートをお持ちの方も再度ご確認ください。

STEP 4

費用のお支払

お申込みの後、１週間以内に入学金と滞在手配料を弊社指定口座にお振込ください。残金は入学の１ヶ月前までに当社指定口座にお振込みください。入学日まで１ヶ月を切ってお申込みされた場合は留学費用の全額を一括でお振込みください。

STEP 5

航空券の予約

インターネットや旅行会社・航空会社を通じて、セブ空港にお出迎えする日程に合わせてチケットを予約します。フィリピンでは帰国または第３国に出国するチケットがない場合、入国が拒否されますのでご注意ください。

STEP 6

海外旅行傷害保険の加入

研修期間中の病気、事故、物を紛失した場合に必要になるのが海外旅行傷害保険です。当社では海外旅行保険の加入を強くお勧めいたします。

STEP 7

持ち物の準備

当社から案内する持ち物リストを参考にして留学に持って行く荷物を準備してください。また、フィリピン入国手順や、セブ空港での待ち合わせ方法の案内書をメールでお送りしますのでご確認ください。

STEP 8

フィリピンへ出発！

日本からの飛行機出発の２時間前には空港に到着し、出国手続きをしてください。

STEP 9

セブ到着後

セブの空港に降りて諸手続きを済ませてから、合流場所に向かって下さい。詳細は前もってお知らせします。

CEBU Englishの特徴

フィリピン専門留学エージェント『セブイングリッシュ』

フィリピンに特化した専門性

自分達の目で選び抜いた学校をご紹介!

セブ地域の語学学校に留学経験がある当社日本人職員が、常に学生の視点に立って意見・ご提案をいたします。当社職員が頻繁に提携校を訪問し、授業・講師の質・学校内の様子・周辺環境等を調査しております。新設校は開校後、少なくとも５回以上は期間を空けて学校を訪問し、インタビューや、学校管理者との入念なミーティングを行ってから紹介しております。

このクオリティーを保つため、職員の目の届く範囲、すなわちセブ島地域の学校のみをご紹介しています。
当社職員がセブ島各地の学校を訪問する回数は【年間300回前後※1日に複数校訪問する場合も1回にカウント】です。（当社の学校訪問ブログで確認できます。）常日頃から学校を訪問し、最新の状況について当社ウェブサイトに掲載するとともに、留学検討者様への情報提供に活かしています。

留学中の現地充実サポート！

現地にオフィスがあることで、より幅広いサポートを提供することができます。緊急時の補佐はもちろん、ご留学中のカウンセリング、セブの観光情報の提供、携帯電話や電気スタンド、ドライヤー等のレンタルなどを行なっており、充実した留学ライフをお約束します。

CEBU English

フィリピン専門留学エージェント

セブイングリッシュ

https://cebu-english.com

迅速にご相談いただけけるLINE相談はこちら

ご相談はこちらから!!

https://lin.ee/t9v7YbP

セブイングリッシュ

Cebu English Study Consultancy, INC.

Tancor 5 Residential Suites, President Aguinaldo Street, Villa Aurora Viilage, Kasambagan, Cebu City,Philippines.

☎ (050)5532-9617　※日本からお電話の場合
☎ (0906)-345-4972　※フィリピンからお電話の場合
✉ info@cebu-english.com

Skype ID： kicss-cebu